

2026年5月



投資・財務局からのメッセージ

4月は、包括的な新たな政策枠組みの導入と幅広い国際的な取り組みにより、トルコの投資アジェンダにとって決定的な時期となりました。これらの動きは総じて、トルコの競争力強化、国際的なパートナーシップの深化、そして投資、金融、イノベーションにおける活力ある拠点としての地位の向上に、明確な重点が置かれていることを示しています。

この動きの中心となったのは、「トルコ世紀への投資推進プログラム」の立ち上げでした。イスタンブールのドルマバフチェ・ワーキングオフィスにおいて投資・財務局が主催し、レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領も出席したこのプログラムには、トルコで事業を展開する主要な国際企業の幹部や高官が一堂に会しました。このイニシアチブは、国際的な資本、人材、そして高付加価値の生産を誘致することを目的とした、将来を見据えた枠組みを提示しています。アンカラの大統領府で開かれた記者会見では、この政策アプローチの範囲と目標がさらに詳しく説明され、予測可能で投資家に優しい環境づくりに対す

るトルコの長期的な取り組みが改めて強調されました。

投資・財務局との共催で行われたアンタルヤ外交フォーラムにおいても、トルコが世界的な調整役として果たす役割が明らかになりました。このフォーラムには世界各国から高官や意思決定者が集まり、国際協力と経済変革の新たな動向について対話を行う場が提供されました。

機関間の連携も引き続き拡大しました。ボアズィチ大学金融応用研究センター（CARF）との間で締結された覚書は、金融分野における研究能力の強化とイノベーションの促進に向けた重要な一歩となりました。

国際的な取り組みは、引き続き重要な優先事項でした。設立 20 周年を記念して、投資・財務局は世界 20 カ所にて一連のハイレベルレセプションを引き続き開催しており、トルコの対外直接投資における変革の軌跡や、世界の投資環境における同国の役割の変遷について紹介しています。マドリードでの「フィンテック・ブリッジ：スペイン・トルコ 2026」イベントでは、金融エコシステムに関わる公的機関や主要なステークホルダーが一堂に会し、金融技術分野における協力を推進しました。イスタンブールでの「Take Off Samarkand 2026」の発表は、トルコの地域イノベーション・ネットワークの拡大と、国境を越えた連携の促進に向けた同国の取り組みを改めて示すものとなりました。

最近の投資発表も、トルコの経済の基礎的条件に対する揺るぎない信頼を浮き彫りにしました。DP ワールドは、コジャエリに初の専用契約物流倉庫を開設し、同社の広範な地域展開戦略を後押ししています。ホンダ・トルコはイズミルに新しい二輪車生産拠点を開設し、同国の製造基盤と現地での付加価値生産能力をさらに強化しました。テクノロジー分野において、TeamSystem は DIA Yazılım の買収を通じて事業基盤を拡大し、クラウド型エンタープライズソリューションおよび中小企業向けデジタルトランスフォーメーションの成長に貢献しました。

こうした取り組みに加え、スウェーデン、アゼルバイジャン、イタリア、ドイツ、マレーシア、インドネシア、韓国など、ヨーロッパ、コーカサス、アジア各地で、幅広い国際ロードショーや円卓会議が開催されました。こうした取り組みを通じて、トルコは引き続き、あらゆる分野や地域のグローバルなステークホルダーと積極的に連携しています。

投資・財務局は、質の高い投資を促進し、国際的な対話を強化し、持続可能な長期的成長に貢献することで、この方向性を引き続き支援してまいります。



A・ブラック・ダールオール投資・財務局総裁



トルコ、イスタンブールで世界の投資家や政府高官を一堂に集め、新たな経済改革パッケージを発表

投資・財務局が主催する「トルコ世紀への投資推進プログラム」が、イスタンブールのドルマバフチェ・ワーキングオフィスにて開催されました。レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領が出席し、トルコで事業を展開する主要な国際企業のトップ経営陣に加え、政府高官も一堂に会しました。このハイレベル会合は、トルコの経済政策における重要な節目となり、投資環境の整備、金融の安定強化、そして世界的な資本の誘致を目的とした包括的な新たな経済改革パッケージが発表されました。

エルドアン大統領は演説の中で、出席した要人らに向けて、トルコが「競争力を高め、持続可能な高成長を確保し、投資環境の強化を通じて国際的な直接投資を支援するため、法的、行政的、財政的、そして制度的な措置を講じている」と強調し、さらに、トルコを「世界的な魅力の中心地」へと変革していく決意であると述べました。

また、同氏は、トルコの投資家に対する魅力をさらに高めるため、包括的な法案パッケージがまもなく議会に提出される予定であると発表しました。改革の一環として、イスタンブール・ファイナンシャル・センター内で事業を行う機関に対する税制優遇措置が拡大されるほか、トランジット貿易および海外貿易取引における仲介活動から生じる利益については、現在の50%から100%への引き上げにより、全額免税の対象となります。

また、この優遇措置はイスタンブール・ファイナンシャル・センター以外にも拡大され、同センター外で行われる中継貿易による利益の95%が法人税の免除対象となります。さらに、グローバル企業が地域統括本部をトルコに移転するよう促すため、新たな措置が導入されます。これにより、トルコ国内から海外事業を管理することで生じる所得に対して、大幅な税制上の優遇措置が提供されます。

世界の投資家と政府首脳が直接対話を行うこのプログラムは、トルコの戦略的ビジョンと、国際投資における世界の結節点としての同国の役割が拡大していることを浮き彫りにしました。





トルコ、投資エコシステムに関する包括的な改革アジェンダにおける主要目標を発表

先日発表された「トルコの世紀への投資推進プログラム」の一環として、国際的な資本、人材、高付加価値生産の誘致における同国の競争力を強化することを目的とした包括的な政策枠組みについて、アンカラの大統領府で記者会見が行われました。

チェヴデト・ユルマズ副大統領が主宰したこのイベントには、メフメト・シムシェク財務大臣、メフメト・ファティフ・カチル産業・技術大臣、オメル・ボラト通商大臣、イブラヒム・シェネル大統領府戦略・予算局長、A・ブラク・ダールオール投資・財務局長をはじめとする政府高官が一堂に会しました。ユルマズ副大統領は冒頭の挨拶で、世界経済において不確実性が高まっている時期を迎えており、多くの地域で地政学的緊張が激化していると指摘しました。こうした状況を踏まえ、本プログラムは、投資環境の強化を目的とした構造改革とインセンティブの仕組みを提示するとともに、長期投資家に対してより予測可能で透明性の高い枠組みを提供することを目的としています。

ユルマズ副大統領はまた、トルコが、その強力な産業基盤、先進的な物流インフラ、そしてグローバル・バリューチェーンへの深い統合に支えられ、生産、貿易、流通の中核拠点としてますます存在感を高めていることを強調しました。さらに、現在進行中の法制度、行政、財政、および制度面の改革は、国際的な投資家にとってより安定的で予測可能な事業環境を確保することを目的としていると付け加えました。

トルコのマクロ経済の枠組みは、安定性と政策の継続性を重視しており、信頼できる投資パートナーとしての役割を強化しています。こうした状況下において、世界のサプライチェーンが再構築される中、同国の戦略的な地理的優位性は引き続き構造的な強みとなっています。

この枠組みに基づき、シムシェク大臣は、改革アジェンダを包括的な経済戦略として提示し、2026年を「改革の年」と位置づけ、産業の変革、デジタル化、インフラ投資、ガバナンスの改善に重点を置くことを明らかにしました。この措置は、輸出能力の強化、高付加価値投資の誘致、そしてトルコが地域の金融・貿易ハブとなるという目標の実現を支援することを目的とした、より競争力のある税制の枠組みを導入するものです。

主な措置としては、輸出企業に対する法人税率の引き下げ（14%へ）、製造業の輸出企業に対する法人税

率の引き下げ（9%へ）、および中継貿易に対する優遇措置の拡充などが挙げられます。これには、イスタンブール・ファイナンシャル・センター内での所得に対する完全な免税措置と、同センター外での所得に対する95%の免税措置が含まれます。サービス輸出や高付加価値分野を支援するため、追加の優遇措置が設けられています。また、新たな枠組みでは、トルコに移住する一定の要件を満たす個人に対し、国外源泉所得に対する20年間の所得税免除が適用されるほか、資産の国内還流を促進する措置も講じられています。

シムシェク大臣はまた、投資・財務局をワンストップ窓口へと再編し、投資手続きを効率化するとともに、投資家全体の体験を向上させることにも言及しました。同大臣は、トルコには約8万7,000社の多国籍企業が進出しており、約3,000億米ドルの外国直接投資（FDI）を誘致していることを指摘し、同国の確かな実績を強調しました。

これらを総合すると、この改革の取り組みは、トルコが投資エコシステムの強化と、投資の拠点としての地位の向上に注力し、より競争力があり、強靱な経済構造の構築を支援する姿勢を示していると言えます。



シムシェク大臣、イスタンブール鉄道プロジェクトに関する世界銀行史上3番目の規模となる融資契約を締結

メフメト・シムシェク財務大臣は、IMF・世界銀行春季会合に先立ち、米国で一連の高官級会談を行い、その一環として世界銀行との間で大規模な融資協定に署名しました。

ニューヨークとワシントンD.C.を巡る日程の一環として、シムシェク大臣は、国際的な投資家や、世界銀行、アジア開発銀行、アジアインフラ投資銀行など、世界有数の金融機関の高官らと会談しました。また、二国間会談には、スコット・ベッセント米国財務長官や、いくつかのパートナー国の財務大臣といった主要な相手国・機関の代表者も含まれていました。

今回の訪問のハイライトは、イスタンブール北部鉄道横断プロジェクト（INRAIL）に関する世界銀行との融資協定の調印であり、その額は約20億米ドルに上ります。

この協定には、シムシェク大臣と世界銀行のアンナ・ビエルデ業務担当専務理事が共同で署名しました。調印式でスピーチを行ったシムシェク大臣は、このイニシアチブの規模を強調し、「これは世界銀行の歴史上、承認されたプロジェクトとしては3番目に大きなものです。この事実だけでも、我々の抱く野心の大きさ、そしてトルコの実施能力に対するパートナー各国の信頼の深さが示されています」と述べました。

国際開発機関による支援を受けた総額67億5,000万米ドルの包括的な資金調達枠組みの一環として、本プロジェクトは、イスタンブール全域の主要な物流ハブを結ぶ大容量の電化鉄道路線の建設を可能にし、欧州、アジア、中東を結ぶ輸送回廊をさらに強化することになります。

シムシェク大臣の活動は、国際的なパートナーとの協力を深めつつ、長期的かつ費用対効果の高い対外資

金調達を確保するという、トルコの包括的な戦略を反映しています。
世界銀行との合意は画期的な出来事として際立っており、本プロジェクトの戦略的重要性と、交通と貿易の要としてのトルコの役割がますます大きくなっていることを浮き彫りにしています。





カチル大臣、UEZ 2026 でトルコの先進的な防衛能力を紹介

サカリヤで開催された「UEZ 2026 国際経済サミット」で講演したメフメト・ファティフ・カチル産業技術大臣は、世界貿易におけるトルコの役割の拡大や、防衛産業における進展について重要な見解を述べました。

カチル大臣は、2002年から2025年の間に、トルコの世界貿易におけるシェアが0.55%から1.07%へと倍増し、同時に世界の製造業付加価値におけるシェアも0.69%から1.38%へと増加したと述べました。同大臣は、同国の堅調な産業実績を強調し、製造業の生産額が2002年の410億米ドルから2025年には2,460億米ドルへと増加し、世界平均を大幅に上回ったと述べました。

カチル大臣は輸出能力を強調し、世界の軍用無人航空機（UAV）市場のおよそ3分の2をトルコ企業が占めていると指摘しました。また同氏は、トルコが複数の分野において欧州の生産国トップ5にランクインしており、今後さらに製造能力を強化していくことを目指していると強調しました。

カチル大臣は、トルコの強固な産業インフラ、活力ある研究開発・イノベーションのエコシステム、そして確固たる起業家精神が、同国をパンデミック期とその後の状況において、勝ち組の一つとして台頭させる原動力となったと強調しました。同氏は、中・高技術製品の輸出額が昨年1,120億米ドルに達し、2025年にはそれぞれ12.5%と10.6%の成長率を記録したと指摘しました。

カチル大臣は、トルコを中国から中央ヨーロッパに至る広範な地域において最も急成長している輸出国であると述べるとともに、同国のイノベーションへの取り組みについても強調しました。同氏は、トルコがGDPの約1.5%を研究開発（R&D）に充てており、これは約200億米ドルに相当すると述べました。さらに、カチル大臣は、トルコの台頭しつつある技術力を強調し、同国がハイブリッドロケット技術において世界トップ4にランクインしていることを指摘し、先端産業における新たな機会を示唆しました。





トルコとポルトガルのパートナーシップ、主要分野で拡大へ

オメル・ボラット通商大臣とポルトガルのパウロ・ランジェル外務大臣は、リスボンで開催された第5回トルコ・ポルトガル合同経済貿易委員会（JETCO）会合の席上で会談し、二国間の経済協力を推進し、貿易・投資関係を拡大するという共通の決意を強調しました。

両当事者は、貿易、投資、請負サービス、エネルギー、運輸、防衛産業など、幅広い戦略的分野における協力の強化の重要性を強調しました。また、ビジネス界向けのビザ手続きの円滑化、EU・トルコ関税同盟の近代化、そしてグリーン・トランスフォーメーションや循環型経済における協力の推進についても意見を交わしました。

両国が国交樹立 100 周年を迎えるにあたり、双方は長年にわたるパートナーシップをさらに発展させていくという決意を改めて確認しました。

「トルコとポルトガルは、多岐にわたる分野において、貿易および投資関係をさらに強化する大きな可能性を秘めています」とボラット大臣は述べました。「JETCO などの仕組みや、両国のビジネス界間の連携強化を通じて、新たな機会を創出し、経済協力をさらに深めていくことを目指しています。」

ボラット大臣はまた、政府レベルと民間セクターの両方における継続的な対話の重要性を強調し、こうした交流が二国間関係の強化において今後も重要な役割を果たし続けると述べました。

トルコとポルトガルとの二国間貿易および経済関係は、近年著しい成長を遂げています。新型コロナウイルス感染症のパンデミック以前はおよそ 20 億米ドルだった貿易額は、2024 年には 30 億米ドル近くに達し、2025 年にはさらに増加して 37 億米ドルとなりました。

2025 年、トルコからポルトガルへの輸出総額は 18 億 3000 万米ドルに達し、同期間におけるポルトガルからの輸入額は 18 億 7000 万米ドルとなりました。

現在、トルコでは 77 社のポルトガル資本企業が事業を展開しており、その総投資額は 2 億 3300 万米ドルに上ります。これらの企業は、情報技術・ソフトウェア、電気通信、電子機器、機械・設備、金属製品製造、セラミックス、紙・林産物、繊維、建設、エンジニアリング・コンサルティングサービス、再生可能エネルギー、廃棄物管理、家具製造、採石業など、幅広い分野で事業を展開しています。

トルコは、投資環境の改善と国際的なパートナーシップの多様化という包括的なビジョンに沿って、ハイレベルな外交的取り組みを通じて、国際的な経済連携を推進し続けています。



世界のリーダーたちがアンタルヤ外交フォーラムに集結し、投資の未来を形作る

投資・財務局との共催により開催される「アンタルヤ外交フォーラム」は、国際協力と経済変革の未来を形作る重要な議論を行うため、アンタルヤに各国の高官や意思決定者を迎え、世界的な会議開催地としてのトルコの地位をさらに高めています。

本フォーラムの目玉セッションの一つである「大陸を越えた投資」が、投資・財務局長のA・ブラク・ダールオール氏の司会により、ネスト・コンベンションセンターで開催されました。

このセッションでは、世界的な著名人が一堂に会し、世界的な投資・生産ネットワークの変遷について検討しました。

この豪華なパネリスト陣には、開発途上国8カ国経済協力機構（D-8）のソハイル・マフムード事務総長、テュルク系投資基金のバグダッド・アムレイエフ会長、およびOECDのグローバル関係・協力局長であるアンドレアス・シャル氏が名を連ねました。

パネルディスカッションでは、地政学的緊張の高まり、戦略的競争、そして地経学的な政策の転換という状況下における、グローバル・バリューチェーンの抜本的な変容について議論されました。

登壇者たちは、投資の決定は、もはやコスト効率のみによって左右されるのではなく、外交関係、政治的信頼、そして戦略的な連携によってますます左右されるようになってきていると強調しました。

主な議論は、グローバル・バリューチェーンの再構築と地域化、ニアショアリングやフレンドショアリン

グ戦略の重要性の高まり、サプライチェーンにおけるレジリエンス、効率性、持続可能性のバランス、ミドル・コリドーやトランス・カスピ海ルートといったインフラ回廊の重要性、そして新たな投資機会を創出するための国際協力の役割に焦点を当てました。

パネリストたちはまた、分断化が進む世界情勢の中で、新興国が質の高い外国直接投資（FDI）をどのように誘致できるかについて検討し、規制の予測可能性、デジタル基盤、そしてグリーン移行への取り組みの重要性を強調しました。

この会合では、外交と投資戦略の融合が進んでいることが浮き彫りになりました。

持続可能性、デジタル主権、そして技術革新が競争力の核心となるにつれ、投資外交の新たなモデルが登場することが期待されています。

世界有数の対話プラットフォームの一つであるアンタルヤ外交フォーラムは、この地域と世界経済の未来を形作る上でトルコが果たす戦略的な役割を改めて示し、世界の結節点としての役割を果たしました。



投資・財務局と CARF が、金融イノベーションと研究協力の強化に向けた覚書を締結

投資・財務局は、ボアズィチ大学の金融応用研究センター（CARF）と覚書（MoU）を締結し、金融研究およびイノベーションにおける協力強化に向けた戦略的な一歩を踏み出しました。

この協定は、ボアズィチ大学カンディリ・キャンパス内にある CARF 本部にて正式に締結され、投資・財務局長の A・ブラク・ダールオール氏と、CARF 会長のヴェダト・アクギライ教授が署名を行いました。本覚書は、フィンテック、参加型金融、サステナブル・ファイナンスなどの主要分野における協力を強化するとともに、トルコの起業家エコシステムの進展および革新的な金融技術の普及に貢献することを目的としています。

式典での挨拶で、ダールオール氏は、同局の主要な優先事項の一つは、トルコへの資本流入を加速・促進することであると強調しました。同氏は、この目標を達成するには、多様な政策手段と強力な制度的協力が不可欠であると指摘しました。CARF の専門性、特にサステナブル・ファイナンスや新興金融技術における専門性を強調し、ダールオール氏は、具体的な枠組みの中でパートナーシップを正式に締結できたことに満足の意を表しました。

また同氏は、世界的な金融システムにおいて技術の進歩とレジリエンスの重要性が高まっていることを強調し、人工知能や金融インフラなどの分野における国内の能力強化の必要性を指摘しました。ダールオール氏は、CARF との連携が、今後数年にわたって同国の金融エコシステムを発展させるための強固な基盤となるだろうと付け加えました。

ヴェダト・アクギライ教授は、この協定を CARF とトルコの双方にとって重要な節目であると述べました。同氏は、このパートナーシップが学術的知見と技術的専門知識、そして政策立案を結びつけ、同国の経済変革に直接貢献することになると述べました。アクギライ氏は、CARF が金融技術、サステナビリティ、環境金融、コーポレート・ガバナンスの分野で行っている活動は、学術的な進歩を支援するだけでなく、具体的な経済的効果を生み出すことも目的としていると指摘しました。

強力な公的機関と連携することの重要性を強調し、アクギリ氏は、この協力関係が CARF の研究活動に新たな活気と意義をもたらすだろうと述べました。さらに同氏は、データに基づく透明性が高く、強靱な金融システムへの共通の取り組みが、このパートナーシップの基盤を成していると付け加えました。

投資・財務局は、トルコが金融の要衝としての地位を確固たるものにする長期的なパートナーシップやプロジェクトに引き続き取り組んでおり、国内の金融環境の発展に寄与するとともに、国際金融市場における同国の地位を強化しています。



投資・財務局、マドリードで開催された「20 Years of Excellence」レセプションにて、

トルコの対外直接投資（FDI）の変革を紹介

投資・財務局は、設立 20 周年を記念して、世界 20 カ所で開催される一連の高官級レセプションを通じて、トルコの対外直接投資（FDI）における変貌と、国際的な投資環境における同国の役割の進化をアピールしています。

世界中の投資家、ビジネスリーダー、公共部門の代表者を一堂に集め、当事務局はこの節目の年を機に、トルコの対外直接投資（FDI）の歩みと、ますます強まっているその魅力を、世界の投資コミュニティに発信しています。

この世界的なシリーズの最新レセプションが、在スペイン・トルコ大使館との協力のもとマドリードで開催され、国内外の投資家、起業家、経営幹部、政策立案者など、各界の著名な方々が一堂に会しました。開会の辞は、投資・財務局長の A・ブラク・ダールオール氏と、トルコ駐スペイン大使のヌケト・キュチュケル・エズベルチ氏によって述べられました。

このレセプションには、アマデウス、IE ビジネススクール、インスティトゥート・デ・エミプレ・ファミリアといった主要機関の幹部をはじめ、トルコとスペインの外交代表も出席しました。

イベントを通じて、投資・財務局は、世界的な不確実性が続く中でも、トルコが投資先として持つ強靱さと、依然として高い魅力について強調しました。マドリードでの会合では、トルコとスペインの経済関係の強固さ、そして投資協力のさらなる深化に向けた未開拓の可能性も強調されました。

ダールオール氏は演説の中で、二国間貿易において大きな進展が見られたことを強調し、今後、投資の流れがさらに活発化することへの確信を示しました。

2003 年以来、トルコは 2,900 億米ドル近くの外国直接投資（FDI）を誘致しており、そのうち 117 億米ドルはスペインの投資家によるものです。スペインによるトルコへの投資総額は現在、600 億米ドルを

超え、持続的な信頼と長期的な関与を反映しています。

2006年の設立以来、投資・財務局は、トルコのグローバルな投資家ネットワークの強化と、同国を信頼できる投資拠点として確立する上で中心的な役割を果たしてきました。当事務所は、各国の状況に合わせた戦略、専門のセクター別チーム、そして14カ国で活動する現地アドバイザーを通じて、トルコのビジネスチャンスの世界規模で発信し続けています。

自動車、製造、物流、先端技術などの分野で目覚ましい進展を遂げているトルコは、グローバルな競争力を高め続けています。また、そのダイナミックなイノベーションと起業家精神に満ちたエコシステムは、世界の結節点としての同国の投資魅力をさらに高めています。



投資・財務局、スペインとの国境を越えたフィンテック連携を推進

「Fintech Bridge: Spain-Türkiye 2026」は、投資・財務局およびマドリード商工会議所との共催により開催され、マドリードにおいて主要な公的機関、金融関係者、フィンテック・エコシステムの代表者が一堂に会し、トルコとスペイン間の金融技術に関する投資、イノベーション、および国境を越えた協力に関する二国間対話を推進しました。

イベントは、ICEXのエリサ・カルボネル・マルティン CEO、トルコ駐スペイン大使のヌケト・キュチュケル・エズベルチ氏、およびマドリード商工会議所のエルサ・サルバドル副理事による開会の挨拶で幕を開けました。続いて、AI、規制、次世代金融インフラが銀行業やフィンテックをどのように変革しているか、また決済、旅行、中小企業向け金融、インフラの各分野におけるスペインとトルコのエコシステムの相互補完的な強みについて焦点を当てた2つのパネルディスカッションが行われました。議論では、国境を越えた事業拡大や金融統合の深化に向けた具体的な機会が浮き彫りになりました。

また、本イベントでは、投資・財務局長のA・ブラク・ダールオール氏による基調講演も行われ、同氏は、トルコの強靱な投資環境、改革主導による力強い経済変革、そしてフィンテック革新や国際的な投資パートナーシップのダイナミックな拠点としての同国の役割の高まりについて強調しました。ダールオール氏は、トルコが2003年以降、2,900億米ドルの外国直接投資（FDI）を誘致してきたと指摘しました。

イベント終了後、投資・財務局とスペインのフィンテック・インシュアテック協会（AEFI）との間で、二国間の投資協力を強化し、トルコとスペインの金融エコシステム間の連携を深めることを目的とした覚書が締結されました。本協定は、共同イニシアチブやハイレベルな対話を通じて、フィンテック、インシュアテック、および金融サービス全般にわたる相互投資、情報交換、協力を促進し、持続可能な成長と国境を越えた投資機会を支援するものです。

スペインとトルコを結ぶフィンテック・コリドーの強化を図る本イベントでは、決済、中小企業向け金

融、デジタルバンキングにおける協力の拡大が強調され、地域を越えたイノベーション、投資、金融の結節点としてのトルコの役割がさらに強化されました。





ホンダ、イズミルに新たな二輪車生産拠点を設立し、トルコでの事業を拡大

ホンダ・トルコは、イズミルのアリア地区に新しい二輪車生産拠点を開設しました。これは、トルコが競争力のある製造拠点としての地位を強化する戦略的な投資となります。年間生産能力 10 万台で稼働を開始し、最大 20 万台まで拡張可能な同工場は、高まる需要に対応するとともに、地域における付加価値の高い生産体制の強化に寄与することが期待されています。

開会式には、ホンダ・モーター・ヨーロッパのハンス・デ・イエーガー社長、ホンダ・トゥルキエ A.Ş. の山田聡社長をはじめ、イズミル県副知事のヌスレット・シャーヒン氏、アリア地区知事のゼケリヤ・ギュネイ氏、アリア市長のセルカン・アカル氏、アリア組織工業団地理事長のハルク・テズジャン氏、投資・財務局副局長のベキル・ポラト氏、そして駐トルコ日本大使の田村政美氏など、政府高官や企業代表者が出席しました。

敷地面積 10 万平方メートルのこの施設は、当初は 1 本の生産ラインで操業を開始し、約 300 人を雇用する見込みです。生産能力の拡大に伴い、雇用者数はさらに増加する見通しです。この投資は、地域の発展に寄与し、地域のサプライチェーンを強化し、トルコの産業基盤を向上させるものと見込まれています。

ホンダの幹部は、この投資がトルコに対する同社の長期的なコミットメントと、同国の成長可能性に対する確信を反映していることを強調しました。同工場では、ホンダのグローバルな生産ノウハウとトルコの熟練した労働力を融合させ、より柔軟かつ効率的な製造プロセスを実現するとともに、中期的には輸出の可能性を後押しすることが期待されています。

同工場で最初に生産されるモデルである PCX125 は、6 月にトルコ市場に投入される予定です。

この施設は、トルコがますます競争力のある製造拠点としての地位をさらに強固なものにし、地域および国際的なバリューチェーンへの統合を促進します。





トルコ：Take Off を通じてイスタンブールからサマルカンドまでイノベーション・エコシステムをつなぐ

「Take Off Samarkand 2026」は、イスタンブールのトプカプ宮殿およびセベッチラー・パビリオンで開催されたキックオフイベントにて正式に発表されました。このイベントにはエコシステムの主要な関係者が一堂に会し、次回開催のビジョン、地域における位置づけ、そして協業の機会について紹介されました。イスタンブールとバクーでの成功を受けて、「Take Off」は地域イノベーション・ネットワークの拡大を続けており、次なる開催地はサマルカンドとなります。

本イベントでは、投資・財務局広報部長のギョクハン・ユジェル氏、産業技術省国家技術・人工知能局長サドゥッラー・ウズン氏、トルコ・テクノロジー・チーム（T3）財団理事長エルヴァン・クズジュ・フドゥル氏、外務省科学技術政策局長ハミ・アクソイ氏、およびウズベキスタン総領事シェルゾド・アブドゥナザロフ氏による開会の辞が述べられました。続いて、T3 スタートアップセンターのディレクターであるイレム・バイラクトル・アクサカル氏による「Take Off Samarkand」のプレゼンテーションが行われました。同氏は、6月3日から4日にかけて開催予定のサマルカンド大会を前に、スタートアップ、投資家、エコシステムのステークホルダー間の新たなパートナーシップの構築に焦点を当て、本イベントの地域的・国際的な位置づけや、協力の可能性のある分野について強調しました。

ギョクハン・ユジェル氏はスピーチの中で、Take Off がトルコの起業家エコシステムと国際的な投資・技術ネットワークをつなぐ戦略的プラットフォームとしての役割を果たすとともに、トルコと中央アジアの間で生まれつつある協力の架け橋を強化していると強調しました。

これまでに40カ国から約2万人の参加者、99の機関、そして投資家を集めてきた「Take Off」は、ト

ルコを地域を超えたイノベーションとテクノロジーの結節点として位置づけ続け、新シルクロード沿いの地域エコシステム間の連携強化を支援しています。





投資・財務局長 A・ブラク・ダールオール氏、学生とキャリア形成について意見交換を実施

投資・財務局の A・ブラク・ダールオール局長は、「Tecrübe Haliç'te」（ハリッチでの経験）シリーズの一環として、メルヴェ・ケケッチ准教授が司会を務めるハリッチ大学での学生との懇談会に出席しました。

ダールオール氏は講演の中で、投資業界でのキャリアを築こうとする若手プロフェッショナルに向けて貴重な知見を共有し、一から積み上げていくことの重要性と、将来の課題に備えることの重要性を強調しました。ダールオール氏はまた、持続的な成功を収める上でチームワークが果たす極めて重要な役割を強調し、多くの成功した事業は強力なチームによって支えられていると指摘しました。

ダールオール氏は、継続的な学習と未来を見据えることの重要性を強調し、学生たちに対し、成功を目指してプロセス重視の姿勢を持ち、断固たる決意を持って取り組むよう呼びかけました。セッションは、外国直接投資（FDI）に関する質疑応答で締めくくられ、学生たちは関心の高いテーマについて直接意見を交わす機会を得ました。



トルコおよび世界市場におけるイスラム金融の役割の拡大

投資・財務局のA・ブラク・ダールオール局長は、トルコ神学者協会（TÜİD – Türkiye ilahiyatlılar Derneği）が主催した「イスラム経済・金融アカデミー修了証授与式」において、トルコおよび世界におけるイスラム金融に関する見解を述べました。

ダールオール氏は発言の中で、参加型銀行がトルコの銀行業界の約9%を占め、参加型保険は約5%を占めていると指摘しました。世界的に見ると、イスラム金融資産は依然として金融資産総額の1%近くを占めています。

公正かつリスクを意識した金融システムの重要性を強調したダールオール氏は、イスラム金融商品の強力な成長可能性と世界的な普及の広がり言及し、この変革においてトルコが金融の要としての役割を果たすことを強調しました。



スウェーデンとトルコ間の投資およびパートナーシップの機会を拡大するための戦略的対話

トルコ・スウェーデン商工会議所が、QANAQ グループおよび CorporateConnections Türkiye と共同で開催した「エグゼクティブ・ストラテジック・ラウンドテーブル：スウェーデン&トルコ」では、イスタンブールに経営幹部や業界のリーダーが一堂に会し、特に北欧への玄関口としてのスウェーデンに焦点を当てながら、トルコとスウェーデン間の戦略的な成長機会や国境を越えたパートナーシップについて議論しました。

プログラムは、投資・財務局副局長のベキル・ポラト氏、トルコ・スウェーデン商工会議所会長のウシュル・ヤルチュン氏、コーポレート・コネクションズ USA 社長のロバート・ジェルヴェ氏、および YASED 事務局長のセルカン・ヴァランドヴァ氏による挨拶で幕を開けました。ポラト氏は演説の中で、トルコの競争力のある投資環境、変化し続ける貿易の動向、そして優先分野における国際的な投資家とトルコの主要企業とのパートナーシップの拠点としての同国の戦略的な位置づけについて強調しました。スウェーデンの多国籍企業およびトルコの主要企業の取締役、経営幹部、各国代表が一堂に会したこの円卓会議では、市場参入戦略、各セクターにおける投資機会、そして拡張性のあるパートナーシップの構築に向けた道筋について活発な議論が交わされました。これにより、トルコが投資の結節点としての役割をさらに強化し、投資家と高付加価値の北欧市場および周辺地域とを結びつける架け橋となることが示されました。



トルコ、決済セクターの変革を通じてサステナブル・ファイナンスを強化

トルコ決済・電子マネー機関協会（TÖDEB）が主催したイベント「決済セクターにおけるサステナビリティ：今日を理解し、明日を形作る」には、イスタンブールから金融セクターの主要な代表者が一堂に会しました。

開会の辞は、投資・財務局副局長のフルカン・カラヤカ氏、TÖDEB 会長のセルハット・ドラズ氏、トルコ共和国中央銀行決済システム・金融技術局副局長のナイメ・ベリズ・コルクット氏、および環境・都市化・気候変動省気候変動局副局長のメフラリ・エジェル氏によって述べられました。

カーボンニュートラルなイベントとして開催された本会議では、決済および電子マネー・エコシステム全体におけるサステナビリティの定着化が主な議題となりました。

カラヤカ氏は講演の中で、トルコの金融セクターおよび電子マネー・エコシステムの現状と将来像について言及し、同国が金融の結節点として果たす戦略的な役割を強調しました。



トルコ・アゼルバイジャン協力における新たな分野として台頭する参加型金融

投資・財務局は、経済改革・コミュニケーション分析センター（CAERC）と連携してバクーでロードショーを開催し、資本市場、保険、フィンテック分野の主要な関係者を一堂に集めました。

代表団は、アゼルバイジャン共和国中央銀行、アゼルバイジャン共和国財務省、バクー証券取引所、アゼルバイジャン共和国輸出・投資促進庁（AZPROMO）といった主要機関のほか、PASHA Capital やアゼルバイジャン国際銀行などの民間企業のトップともハイレベルな会談を行いました。

議論は、参加型資本市場商品の開発、金融リテラシーの向上、およびフィンテックと保険のエコシステムの推進に焦点が当てられました。

投資・財務局の財務部長であるタルク・アクン博士は、トルコとアゼルバイジャンの強固な協力関係を参加型金融エコシステムへと発展させることは、計り知れない可能性を秘めた戦略的優先課題であると強調しました。アクン氏は、資本市場とフィンテックを通じてこの統合を推進することが、長期的な成長に向けた極めて有望な基盤となると強調しました。



トルコとマレーシア間の参加型金融回廊の勢いが加速

「トルコ・マレーシア参加型金融ミッション」は、クアラルンプールにて、貿易金融、スクーク、ファンド構造、フィンテックなどの分野から 20 機関の代表者 46 名を集めました。このプログラムは、トルコとマレーシアの参加型金融エコシステム間の協力を促進し、昨年トルコで開催された「マレーシア・トルコビジネスミッション」において築かれた戦略的連携をさらに発展させる上で、極めて重要な役割を果たしました。本ミッションは、投資・財務局およびトルコ参加銀行協会（TKBB）と連携し、MIFC ビジネスネットワーク（MBN）およびマレーシア・イスラム銀行・金融機関協会（AIBIM）の協力のもとで企画されました。

本プログラムの冒頭挨拶は、投資・財務局財務部長のタルク・アクン博士が行い、トルコで拡大を続ける参加型金融エコシステムの最新動向について紹介するとともに、優先分野における参加型金融の新たな協力の機会について言及しました。

参加型金融手段や機関間パートナーシップを通じた連携を強化するとともに、本ミッションは、ボスポラス海峡からマラッカ海峡に至る戦略的金融回廊の構築をさらに支援し、金融と国境を越えた投資協力の結節点としてのトルコの役割を強化しました。



トルコからインドネシアへ、参加型金融のエコシステムをつなぐ

トルコの参加型金融セクターの代表団が、トルコ参加型金融ミッションの一環として、新たな協力の道を探るためインドネシアを訪問しました。

このプログラムは、投資・財務局とトルコ参加銀行協会が、シャリーア経済国家委員会およびインドネシア・シャリーア銀行協会と協力して主催し、20の機関から46名の代表者が一堂に会しました。このミッションでは、貿易金融、スクーク、ファンド構造、フィンテックに焦点を当てたパネルディスカッション、円卓会議、およびB2Bミーティングが行われました。

今回のハイライトの一つは、投資・財務局とKNEKSとの間で覚書が締結されたことであり、これにより、参加型金融におけるトルコとインドネシアの協力を推進するための強固な枠組みが確立されました。プログラムの中で、駐インドネシアトルコ大使のタリップ・キュチュクジャン教授が挨拶を行い、投資・財務局財務部長のタルク・アクン博士は演説の中で、トルコが金融の要としての役割をますます強めていることを強調しました。



「2026年トルコ経済デー」における投資対話の強化

投資・財務局は、シュトゥットガルト商工会議所（IHK Region Stuttgart）が、在シュトゥットガルト・トルコ総領事館およびトルコとドイツの主要な経済団体と共同で開催した「2026年トルコ経済デー」に参加しました。このイベントには、産業界、公的機関、投資コミュニティの幹部が集まり、両国間の経済対話を強化することを目的とするものです。

当事務所を代表して、カントリーアドバイザーのファルク・クルトゥルムシュ氏が「エネルギーと資金調達に焦点を当てたトルコにおける投資機会」と題したパネルディスカッションの司会を務め、トルコの投資環境の変遷について見解を述べました。一方、プロジェクト・マネージャーのラウフ・フラト・ヤシャル氏は、同国で進行中のエネルギー転換と、国際投資家にとっての新たな投資機会について強調しました。

議論は、投資機会、産業協力、そして進化する市場参入戦略に焦点が当てられ、トルコが金融、エネルギー、そして国境を越えた投資の結節点としての地位を確固たるものにしました。



TeamSystem、DIA Yazılım の買収によりトルコにおける投資戦略を強化

イタリアに拠点を置くテクノロジーおよび AI を活用したデジタルプラットフォームプロバイダーの TeamSystem は、DIA Yazılım の買収を通じてトルコにおける投資基盤を拡大し、クラウドベースのエンタープライズソフトウェアの機能をさらに強化するとともに、同国全土における中小企業向けのデジタルトランスフォーメーションを推進しています。今回の取引は、TeamSystem のトルコにおける長期的な事業拡大戦略における新たな節目となるものであり、生産性向上のためのデジタル化への需要が高まっている市場において、同社のソフトウェアソリューションのポートフォリオを拡大するという明確な取り組みを反映したものです。

今回の買収は、TeamSystem がトルコで築き上げてきたエコシステムを基盤とするものです。同社はこれまで、Mikrogrup、Paraşüt、Zirve Yazılım、Nef Yazılım、Bizim Hesap への投資を通じて、同国での事業拡大を図ってきました。DIA Yazılım を製品ラインナップに組み込んだことで、TeamSystem は現地に根差したクラウド ERP 機能を強化し、トルコの急速に変化する中小企業市場において、さまざまな規模や業界の企業に合わせた、よりモジュール式で拡張性の高いソリューションを提供できるようになりました。

従業員 100 名以上、ユーザー数万人を擁する DIA Yazılım は、業務上の要件や規制要件に対応するように設計されたクラウド型 ERP ソリューションを提供する、国内で確固たる地位を築いたテクノロジープラットフォームです。今回の買収により、TeamSystem の ERP 機能は複数の企業セグメントにわたり拡大し、変化するビジネスニーズに合わせた、より統合的で適応性の高いデジタル環境を提供する能力が強化される見込みです。

トルコ国外でも、TeamSystem は、AI、SaaS、クラウドベースのプラットフォームからなるエコシステムにおいて、5,000 名以上の専門家を擁し、250 万人以上の顧客にサービスを提供する、欧州を代表す

るテクノロジーグループとしての地位をさらに強固なものにしています。この規模拡大により、中小企業のデジタル化が効率性と生産性の向上によってますます推進されている、構造的に類似した市場において、的を絞った投資を行う能力が強化されます。

国際的なテクノロジー投資会社であるヘルマン・アンド・フリードマンおよびシルバー・レイクの支援を受け、TeamSystem は、欧州および地中海地域全域で長期的な拡大戦略を推進しています。同社は、現地の能力を活用し、成長の可能性が高い市場において、プラットフォームを基盤とした成長モデルを強化しています。

トルコは、この地域で最も活気のあるソフトウェア市場の一つとして、企業のデジタル化能力を強化し、中小企業におけるクラウドベースの変革を加速させる戦略的な技術投資を引き続き誘致しています。DIA Yazılım が TeamSystem のポートフォリオに加わったことは、欧州と周辺地域を結ぶ新興のイノベーション・コネクティビティ回廊において、トルコがデジタルとテクノロジーの結節点として果たす役割がますます重要になっていることを改めて浮き彫りにしています。



DP ワールド、トルコでの新たな倉庫投資により統合物流ネットワークを拡大

DP ワールドは、トルコで初の契約物流専用倉庫を開設しました。コジャエリ県のバルチュクに位置するこの施設は、2 万平方メートルの広さを誇り、東ヨーロッパ全域で契約物流事業を拡大するという DP ワールドの計画において、重要な節目となるものです。

トルコの主要な産業回廊の一つに戦略的に位置するこの新しい倉庫は、イスタンブール、イズミット湾、および周辺の製造拠点へ直接アクセスが可能です。この投資は、海上輸送と内陸物流の連携を強化し、より効率的で連携の取れたサプライチェーンソリューションを実現することを目的としています。

当施設は、複数の荷役用スロープや、迅速な処理能力と高密度保管に最適化されたシステムなど、高度なインフラを備えており、大量の業務に対応可能です。これは、トルコの産業基盤の多様性を反映し、自動車、テクノロジー、化学、ヘルスケア、小売など、幅広い分野に対応できるよう設計されています。

物流の専門家チームが、完全に統合されたデジタルシステムの支援を受けながら、現場の運営を管理しています。この倉庫管理システムは、DP ワールドの港湾ターミナルシステムと直接連携しており、港への到着から最終的な配送に至るまで、リアルタイムでの追跡と調整が可能となっています。この連携により、サプライチェーン全体の業務の可視性と信頼性が向上することが期待されています。

この施設の設計および運営には、持続可能性への配慮が組み込まれています。リチウムイオン電池を動力源とする省エネ機器の導入は、物流活動による環境への影響を低減することに寄与し、より環境に配慮したサプライチェーンの実践を推進する広範な取り組みと軌を一にしています。

この倉庫が、キョルフェズおよびヤルムジャにある DP ワールドのターミナルに近接していることは、海上輸送と陸上輸送のシームレスな連携を実現する同社の能力を強化しています。この統合的なアプローチにより、サービスの効率が向上し、より迅速で予測可能な物流の流れが実現すると期待されています。トルコの強固な産業基盤、先進的な交通インフラ、そして世界的な貿易回廊の要衝という戦略的な立地は、競争力があり信頼性の高い物流ハブとしての同国の役割を、引き続き支えています。

この投資について、DP ワールドの関係者は、トルコが地域の物流ネットワークにおいて果たす戦略的な役割と、欧州とアジアの市場を結ぶ上での重要性を強調しました。この新施設により、同社はエンドツー

エンドの物流ソリューションの提供における地位をさらに強化し、より強靱でコスト効率の高いサプライチェーンの構築を支援することを目指しています。



トルコ、ソウルでの円卓会議で ICT 投資の可能性をアピール

投資・財務局は、ソウルで開催された「World IT Show 2026」の関連イベントとして、ボアズィチ・ベンチャーズと共同で「トルコ・韓国投資エコシステム円卓会議 - イノベーションへの架け橋」を主催しました。

この円卓会議には、トルコと韓国のベンチャーキャピタル、コーポレートベンチャーキャピタル、アクセラレーター、および機関の代表者が一堂に会し、両国間の ICT 分野における今後の協力について検討するための貴重な場となりました。

投資・財務局のカントリーアドバイザーであるタハ・サラン氏と、ボアズィチ・ベンチャーズの CEO 兼 マネージングパートナーであるバルシュ・オズイステク氏が、この円卓会議の冒頭挨拶を行いました。一方、投資・財務局の専門家であるアフメット・ディレル氏は、ご来場の皆様に向けて、「なぜトルコの ICT セクターに投資すべきか？」と題したプレゼンテーションを行いました。

設立 20 周年を迎えた投資・財務局は、世界中の戦略的パートナーとの連携を継続し、トルコが世界の結節点としての地位を確固たるものにしていきます。



ラクイラにおけるトルコ・イタリア投資対話の推進

イタリアの経済界の関係者が、トルコ・イタリア経済協会が主催し、トルコ企業・経済連合（TURKONFED）およびラクイラ工業会と共催したセミナーに参加するため、ラクイラに集まりました。このセミナーは、トルコの多様な投資機会を探ることを目的としています。

このイベントでは、トルコの活気あるビジネスエコシステムと、イタリアのアブルッツォ州から参加した有力企業が結集し、新たなパートナーシップと協業が促進されました。

投資・財務局のカントリーアドバイザーであるジーノ・コスタ氏は、最近の投資機会について紹介し、トルコの戦略的な立地、高度な産業・サービスエコシステム、そして国際的な投資家向けに用意されている幅広い優遇措置を強調し、同国が投資の拠点としての役割をさらに強めていることを示しました。



トルコとイタリア間の新たな貿易・投資ルートの模索

イスタンブール商工会議所、トルコ・イタリア商工会議所（CCIIST）、およびアンカラのイタリア共和国大使館の共催により開催された「イタリアの貿易・投資機会に関するセミナー」では、トルコとイタリア間の投資および輸出の機会を探るため、約 300 名のビジネス界の代表者がイスタンブールに集まりました。

プログラムは、イスタンブール商工会議所のメフメット・デヴェリオール副会長、CCIIST のステファノ・カスロフスキ会長、およびアンカラのイタリア大使館のアンドレア・デッラ・ネッビア通商担当官による挨拶で幕を開けました。

「イタリア市場：トルコ企業にとっての輸出・投資機会」と題されたセッションにおいて、投資・財務局のカントリーアドバイザーであるジーノ・コスタ氏は、トルコとイタリアにおける外国直接投資（FDI）の動向に関する比較分析を共有し、両市場における投資家の関与を左右する主要な機会や構造的要因について解説しました。同氏の発表は、イタリア貿易振興会や民間企業の代表者による市場の実情や二国間協力の機会に関するプレゼンテーションを含む、より広範なプログラムの一環として行われました。

この議論を通じて、トルコが投資とバリューチェーンの結節点としての役割を果たし、欧州市場と地域の成長機会との間の経済的なつながりを強化していることが改めて確認されました。



トルコ、イノベーション・ゼロでグリーン・トランスフォーメーションを披露

投資・財務局は、ロンドンで開催された「イノベーション・ゼロ」に「Invest in Türkiye」ブースを出展し、海外の関係者から大きな関心を集めました。

イノベーター、投資家、政策立案者、業界リーダーが一堂に会する「イノベーション・ゼロ」は、電動化、デジタル化、そして産業変革を推進するための重要なプラットフォームとしての役割を果たしています。

トルコは、持続可能な成長を促進し、エネルギー安全保障を強化し、低炭素経済への移行を加速させる投資を支援し、引き続きグリーン・トランスフォーメーションを開発アジェンダの中心に据えています。

「トルコ世紀への投資推進プログラム」への投資を牽引する存在

改革パッケージで発表された主な措置：

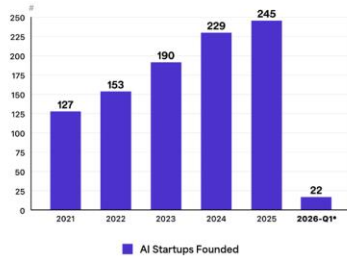
- 新たな支援策を通じて、外国直接投資（FDI）および輸出志向型製造業を優先的に推進します。
- 新しい規制により、個人および法人が保有する海外資産のトルコ経済への移転が促進されます。
- イスタンブール・ファイナンシャル・センター（IFC）の既存の枠組みを強化し、その国際競争力を高めてまいります。
- トランジット貿易による収益に対する免税措置は、100%に引き上げられます。
- IFCに拠点を置く機関が、国際貿易の仲介またはオフショア販売によって得た所得は、法人税から100%控除されます。
- 当初2031年に終了する予定だった現在の免税期間が、2047年まで延長されます。
- インセンティブは、トルコから多国籍企業にサービスを提供する認定サービスセンターの設立を支援するものです。
- 法人税率は25%から9%~14%の範囲に引き下げられ、世界的な資本を誘致し、トルコを主要な生産拠点として位置づけることとなります。



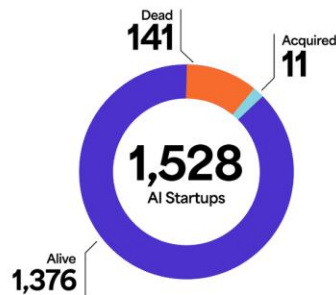
AI Snapshot for Türkiye

Q1 2026

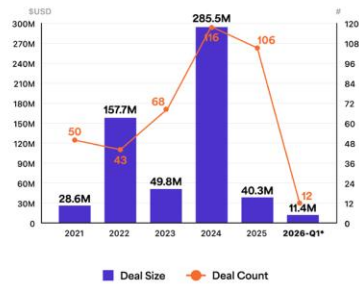
AI Startups



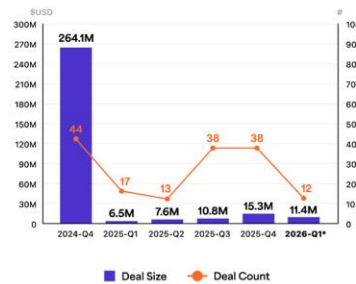
Startups.watch Data



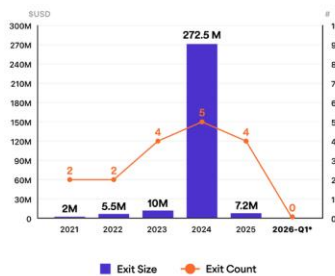
Yearly AI Investments (Angel & VC Deals)



Quarterly AI Investments (Angel & VC Deals)



AI Exits



Most Active AI Investors in 2026-Q1⁽¹⁾



2

Top AI Deals in 2026-Q1



\$6.6M

AI-Only Accelerators



7

Source: Startups.watch - Q1 2026 Report *As of March 31, 2026
 1 : Only deals in Türkiye are counted.
 Check startups.watch for updates. Foreign ventures in Türkiye are excluded.

WHY TÜRKİYE

TÜRKİYE: HUB FOR INNOVATION AND GROWTH

Within a 4-hour flight, easy access to multiple markets of USD 32.1 trillion GDP, USD 10.3 trillion trade, and 1.3 billion people.

Booming economy reaching **USD 358 billion in 2024**, up from USD 238 billion in 2002.

Over **USD 288 billion** of FDI between 2003-2025, while the total amount of FDI attracted between 1980-2002 stood at USD 15 billion.

ACCESS TO MULTIPLE MARKETS

EURASIA

GDP: \$2.8 trillion
Import: \$467 billion
Population: 244 million

EUROPE

GDP: \$24.9 trillion
Import: \$8.3 trillion
Population: 595 million

MENA

GDP: \$4.4 trillion
Import: \$1.5 trillion
Population: 472 million

TOTAL

GDP: \$32.1 trillion
Import: \$10.3 trillion
Population: 1.3 billion

Source: IMF, WTO, TurkStat 2024

REAL GDP GROWTH

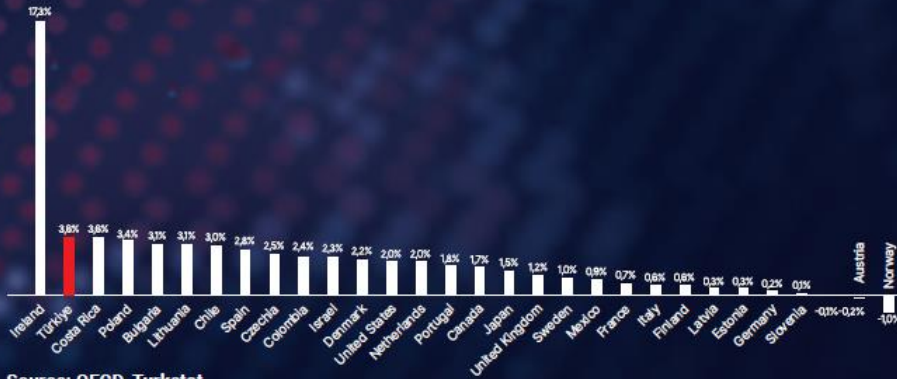
(2025-H1, year on year growth)

G20 Economies



Source: OECD, Turkstat

OECD Economies



Source: OECD, Turkstat

TÜRKİYE

was the fastest growing economy of the OECD members during 2003-2025, with an average annual growth rate of

5.3%

CUMULATIVE FDI INFLOWS TO TÜRKİYE

(USD BILLION)



Source: CBRT

- Investment incentives as well as R&D support.
- Equal treatment to national and global investors guaranteed by law.
- 7 days to set up a company in Türkiye, while it takes an average of 8,5 days in OECD high-income countries.
- (World Bank Doing Business 2020)

HIGHLIGHTS

The fastest growing economy in Europe and one of the fastest growing economies in the world with an average annual GDP growth rate of 5.3% over the past 21 years.

(2003-2024, TurkStat)

SOPHISTICATED CONSUMER BASE

**A population of 86.1 million,
half of which is under the age of 34,9.**

(2024, TurkStat)

**Largest youth population compared with
the EU.**

(2023, Eurostat)

**98.2 million fixed and mobile broadband
internet subscribers.**

(2024, Information and Communications Technologies Authority)

SKILLED AND DEDICATED LABOR FORCE

**Around 36 million young,
well-educated and motivated professionals.**

(2024, Turkstat)

**Around 960,000 students graduate annually
from 208 universities.**

(2024, CoHE)

TÜRKİYE'S INFRASTRUCTURAL DEVELOPMENT

 **USD 215 Billion**

Total value of PPP contracts in Türkiye during the 1986-2024 period.

 **272**

Total number of PPP projects completed in Türkiye during the 1986-2024 period.

 **27,797**

Total number of hospital beds under PPP projects.
18 healthcare campuses have been completed with a total number of 27,797 bed capacity.

 **58**

Number of airports in Türkiye increased from 26 in 2002 to 58 by 2024.

Who we are

Investment and Finance Office is the official organization that:

- Promotes the investment environment of Türkiye and provides assistance to investors.
- Reports directly to the President of the Republic of Türkiye.

How we help

- Multilingual (Turkish, English, German, French, Italian, Arabic, Spanish, Chinese, Japanese and Korean)
- One-Stop-Shop approach
- Result-oriented
- Private sector approach with full confidentiality
- Focusing on high-tech, value-added and employment generating investments.

What we do

- Presenting investment opportunities to the investors and providing assistance during all the stages of their investments.
- Serving as the reference point for international investors and the point of contact for all institutions engaged in promoting and attracting investments at national, regional and local levels.
- Offering free-of-charge services including market information and analyses, site selection, B2B meetings, coordination with relevant governmental institutions, and facilitating legal procedures and applications such as establishing business operations, incentive applications, obtaining licenses and work permits.

OUR GLOBAL LOCATIONS

 USA
 GERMANY
 ITALY
 SPAIN
 NETHERLANDS
 TÜRKİYE
 S. ARABIA
 UAE
 QATAR
 CHINA
 S. KOREA
 JAPAN
 UK
 SINGAPORE
 MALAYSIA

SECTORS

Agrofood
Automotive
Chemicals
Defense & Aerospace
Energy
Financial Investments & Startups
ICT
Infrastructure
Life Sciences
Machinery
Business Services
Financial Services
Mining & Metals
Real Estate
Tourism



Explore untapped investment opportunities across a variety of industries in Türkiye.

FOLLOW US



@InvestTurkey
@InvestTurkiyeAR
@InvestTR_DACH
@InvestTR_JAPAN



@InvestTurkey
@investinturkiyear
@investinturkeyDE



@invest-in-turkey
@investinturkiyear
@investtrdach



@InvestinTürkiye



@investinturkiye_en
@investinturkiye_ar



SUBSCRIBE



N

